

中央葡萄酒株式会社

認定テーマ名： 甲州ブドウ等高品質醸造用ブドウの栽培およびこれら高品質醸造用ブドウを活用した特別熟成ワインの開発と販売

1. 認定事業の現況

高品質な特別熟成ワインに適した高品質な醸造用ブドウの栽培・安定供給のため、五味りんご園、有限会社三澤農場と連携することにより、肥料の完全有機化、草生栽培による土壌管理などを進めている。さらに、熟成に向く醸造用ブドウ栽培のための、苗木の選抜技術などの開発を進めている。



<三澤農場における醸造用ブドウの圃場の様子>

こうした高品質な醸造用ブドウを原料として「熟成してこそ本領を発揮する」よう醸造した高品質ワインを理想的な環境で熟成する本格的なワインカーヴを本事業で整備した。整備したワインカーヴで熟成させた高品質特別熟成ワインを平成 28 年から出荷し、平成 31 年 1 月の認定期間終了までに、累計で 7,000 万円以上の売上を計上している。

生産・販売している高品質特別熟成ワインは、甲州を使ったキュヴェ三澤明野甲州、シャルドネ等の欧州系白ブドウを使ったキュヴェ三澤白、メルロやカベルネソーヴィニヨン等の欧州系赤ブドウを使ったキュヴェ三澤赤の 3 種類である。



<本事業で整備したワインカーヴ>



<高品質特別熟成ワイン>

高品質特別熟成ワインを、日本型の蔵出しワインとして、醸造後、理想的な環境で熟成して理想的な方法で蔵から直接顧客までお届けする仕組みの開発に成功し、顧客名簿を整備することで、期間限定で先行予約販売（プレミアム販売）を行っている。

2. 今後の展望（見通し）

本事業の高品質特別熟成ワインを生産・販売するためには、引き続き高品質な醸造用ブドウの栽培・安定的供給が必須である。近年、猛暑、大雨、突風や強い台風など異常気象が頻発している中、毎年、様々な技術的な課題が出てきているが、引き続き課題解決に向けてチャレンジを行い、高品質な醸造用ブドウの栽培・安定的供給体制の構築を進めていく。

今後、理想的な環境で熟成することのできるワインカーヴを活かして、さらに平成 30 年 10 月に法令化された日本ワイン（日本産のブドウが 100%使用された、日本国内で製造されたワイン）の価値や地理的表示を追い風に、長期熟成ワインを生産・販売していくとともに、国内のみならず海外の高価格帯ワイン市場の開拓も加速化させていく予定である。

4. 認定を目指した経緯

ワインの品質は8割を原料ブドウが左右するといわれ、高品質なワインを醸造するためには、栽培と醸造とのノウハウを一体にした取組みのもと、高品質な醸造用ブドウが必要である。他方、このような醸造用ブドウを栽培するためには、高品質な醸造用ブドウ栽培技術が必要であり、また栽培コストも高くなる。しかし、国産ワインが国内外の高価格帯ワイン市場に十分に参入できていないために、醸造用ブドウの買い取り価格に反映させることが出来ず、高品質な醸造用ブドウは、安定的確保ができない状況であり、不足している。そこで、国内外の高価格帯ワイン市場の開拓と、醸造と一体となった高品質な醸造用ブドウの安定的栽培とを同時的に行っていく必要がある。

そこで、中央葡萄酒株式会社は、地域における土作りにノウハウがあり、高い果樹栽培技術を有する五味りんご園の土づくり技術と、これまでも醸造用ブドウを買い入れてきた有限会社三澤農場の垣根式栽培技術を融合させることで、いっそう高品質な醸造用ブドウの栽培と買入れ価格の引き上げを行う連携の同意を得た。こうして、中央葡萄酒株式会社は、五味りんご園、有限会社三澤農場と三者で連携して、国内外の高価格帯ワイン市場の開拓と、醸造と一体となった高品質な醸造用ブドウの安定的栽培とを同時的に行う農商工等連携事業の認定を目指すこととなり、平成 26 年 10 月に農商工連携の法認定に至った。

4. 利用した中小機構の支援策

中小機構の山梨県担当の澤 CAD（地域活性化支援チーフアドバイザー）から、本事業の事業計画策定から認定後のフォローアップまで一貫したハンズオン支援を受けることができたことが大変有用だった。このハンズオン支援において、農林水産省の支援策を活用したワインカーヴの整備をはじめとして、本事業の節目や企業としてのステップアップの都度毎に相談し、様々なアドバイスをもらうことができた。

また、関東本部が主催した認定事業者交流会に参加し、人脈形成につながった。

5. 企業概要

事業者名	中央葡萄酒株式会社		
本社所在地	山梨県甲州市勝沼町等々力 173		
ホームページアドレス	http://www.grace-wine.com/		
設立年月	昭和 28 年 3 月		
資本金	20,000 千円	従業員数	18 名
売上高	全体：501,190 千円、認定事業の売上高：39,552 千円 (平成 30 年 1 月期)		

※平成 30 年 1 月 31 日現在

6. 認定事業の概要

テーマ名	甲州ブドウ等高品質醸造用ブドウの栽培およびこれら高品質醸造用ブドウを活用した特別熟成ワインの開発と販売
テーマの概要	連携する五味りんご園の土づくり技術と有限会社三澤農場の垣根式栽培技術を融合させ、中央葡萄酒株式会社の醸造技術と一体的な取組みを行い、高品質な醸造用ブドウを安定的に栽培するとともに、これら醸造用ブドウを原料として醸造し、理想的な環境で熟成させる特別熟成ワインを開発・販売する。この取組みによって高価格帯ワイン市場を開拓するとともに、醸造用ブドウの栽培農家の経営安定化を図る。
認定期間	平成 26 年 10 月 15 日～平成 31 年 1 月 31 日